

「山本地方創生担当大臣」来館 !!

内閣府の山本幸三地方創生担当大臣が来館されました。地方創生関係交付金の活用先をご視察のために、来県されたものです。「稲むらの火の館」も「世界津波の日」制定を機会に、展示物の多言語化（英語・中国語・韓国語・インドネシア語・フランス語・スペイン語）した事業です。「濱口梧陵翁」が残した「稲むらの火」、「広村堤防」、津波から復興を果たした町並みなどを世界に向けて情報発信しようとして整備さ



れたものです。

西岡町長の案内で館内を視察されました。滞在時間が短かったために、「津波シミュレーション」と「梧陵堤防のジオラマ」程度しかご覧いただけなかったのは残念でしたが、地方創生担当大臣が来館されたことは光栄な事でした。

「梧陵ガイド」の実施について

昨年、関西圏の大学で防災を研究されている学生さん達が、「館」で防災の研究大会を実施されました。その中の一つの提案、小学生による「稲むらの火の館」のガイドを実施に移そうと、広小学校6年生と計画をすすめました。昨年度は3月に実施されましたが、今年度は夏休みということで準備をすすめています。

8月8日(火)午後と9日(水)は午前、午後の3回実施いたします。皆様、子ども達の応援のためにもご来館ください。

「第7回稲むらの火講座」開催

「稲むらの火講座」は平成27年度に「稲むらの火」「濱口梧陵」「津波防災」をキーワードとして講演会を始めました。27年度に3回、28年度に2回、今年度は3回(計画)と開催して参ります。この間、多くの皆様にご聴講いただきそれぞれご好評をいただいて参りました。

今回、第7回目として開催いたしますが、下記の講師をお迎えいたしますので、御案内いたします。

◎日時 平成29年9月17日(日)午後1時

◎場所 稲むらの火の館3階

◎講師 笠間正弘先生(一般財団法人防災教育推進協会 理事・防災教育センター長)

◎演題 「災害から命を守る教育 -広川の子どもたちが取り組むジュニア防災検定-

◎講師・笠間正弘先生のプロフィール

1961年宮城県生まれ。

子どもたちが自ら考え行動する真の“防災力”を育むため、「ジュニア防災検定」や「防災寺子屋」などの防災教育事業を行っている。著書『わたしたちの防災』。現在、教職員共済だよりに『教職員のための防災基礎講座』を連載中。

広川町の小学校4年生が数年前から「ジュニア防災検定」を受検しています。その防災検定を主宰されているのが、今回の笠間講師です。広川町の子ども達は優秀だと言われています。

稲むらの火の館(電話64-1760)へお申し込み下さい。申し込み順90名までです。



濱口大明神縁起 (その7)

濱田康三郎(かわせみより)

地震が止むと、ハマグチは鋭い老眼を上げて、気遣わし気に村の方を見返しました。人間というものは、或る特別な地点なり事物を凝と見詰めているうちに、ふと眼にそれとは少しも見ていない或るものの意識に曳かれて――視界の彼方に横たわっている、かの無意識的の知覚ともいう可き朦朧たる範囲の中の、極めて漠然とした変だなおもう感情に曳かれて、注意を転ぜしめられることが、よくあるものです。ハマグチも此の時、ふとそうして、沖合の或るただ事ならぬもののけはひに気がついたのです。彼は、と、座を立上がって、海を眺めました。それは全く不意に暗くなって、そして奇妙な動作をしていました。それは風に逆らうて動いているように思えました。正しく陸からずんずん引退いているのです。

ほんの暫くのうちに、村中の人々も此の現象にきがつきました。打見た所、彼等の中には一人として先程の地震を感じたものは無かったようでしたが、海の此の動き方には誰も明らかに驚愕していました。彼等は浜辺に走り出で、なおそのさきへまでとび出して、様子を見守りました。ここらの海岸で汐のこれ程に引いたことは、今の人間の誰の記憶にもありませんでした。ついぞ今日迄に見たことのない様々のものが、段々と現れて来ました。見馴れぬ広々とした畝立つた砂地や、海草のからみついた岩の角々などが、ハマグチの眺めている間にも続々とむき出しに残されました。しかも下の人々の中には誰一人として、その異常な引汐の何を意味しているかを推察するものが無い様子でした。ハマグチ・ゴヘイ自身にしても、彼はまだこれ迄にこうしたことを見た経験はありませんでした。然し、彼は子供の時分に彼の父の父に聞かせて貰った色々な事柄を覚えてい、また海岸の伝説を悉く知っていました。彼は海がこれから何をせんとしているかを了解しました。恐らくは彼は村へ使者を送るか、或は小山の上の寺の坊様に大釣鐘を撞かせるかの為に要す

る時間を、胸算用したでありましょう……然し、彼が心に思いついた時間よりも、思いついた丈の事を口に出して云う時間の方が、ずっと余計にかかったにちがいありません。(つづく)

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

<「稲むらの火」のホームページが

リニューアルされました>

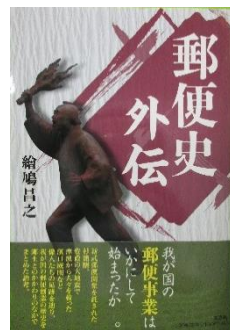
本年4月から「稲むらの火」のホームページ(HP)がリニューアルされました。これまでも、「稲むらの火」のHPを見て、見学の予約を入れてくれた方、HPを見ながら「梧陵さん」のことでお問合せをしてくれた方と、多くの皆様が活用してくれていました。

今回のリニューアルで、より一層見やすくなったと思います。更に活用していただくことを望みます。

また、Facebookにも「稲むらの火」として登録しています。「稲むらの火の館」のニュースもご覧いただくことが出来ると思います。

書籍「郵便史外伝」いただきました

千葉県の元郵政職員、繪鳩昌之氏から「郵便



史外伝」という本が送られてきました。濱口成則(梧陵)の駅逡正・駅逡頭就任の経緯が詳しく書かれています。もちろん、梧陵さんの他の活躍も書かれています。購読希望の方は、「稲むらの火の館」ま

でお問合せください。

<稲むらの火の館の紹介>

濱口梧陵記念館/津波防災教育センター

〒643-0071 住所 和歌山県有田郡広川町広 671

<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamuranohi/>

*開館時間：午前10時～午後5時(受付終了4時)

*休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

(世界津波の日の11月5日は開館)

年末年始(12/29～1/4)

*記念館だけの入場は無料です。